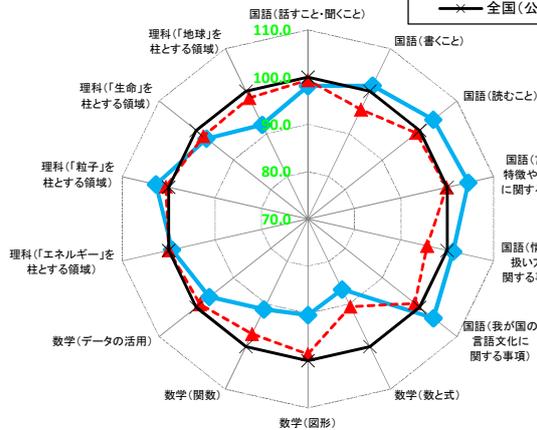
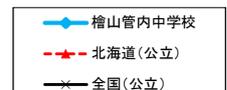
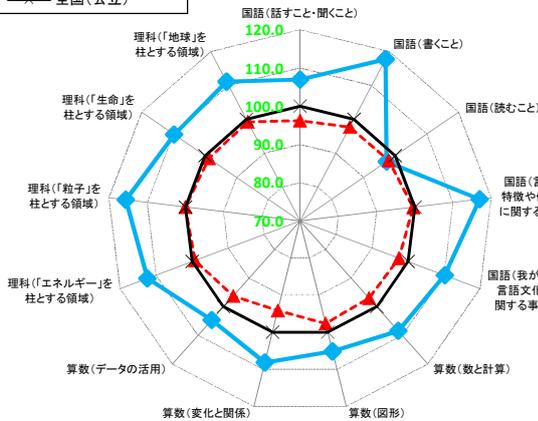
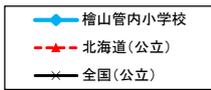


■ 檜山管内の状況及び学力向上策 (小学校数:17校、児童数:197人) (中学校数:10校、生徒数:191人)

小学校 【教科全体の状況】

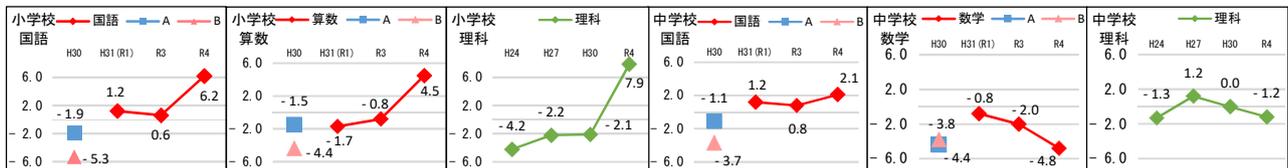
平均正答率	小学校国語	小学校算数	小学校理科	中学校国語	中学校数学	中学校理科
檜山管内	72[71.8]	68[67.7]	71[71.2]	71[71.1]	47[46.6]	48[48.1]
全国(公立)	66[65.6]	63[63.2]	63[63.3]	69[69.0]	51[51.4]	49[49.3]

中学校



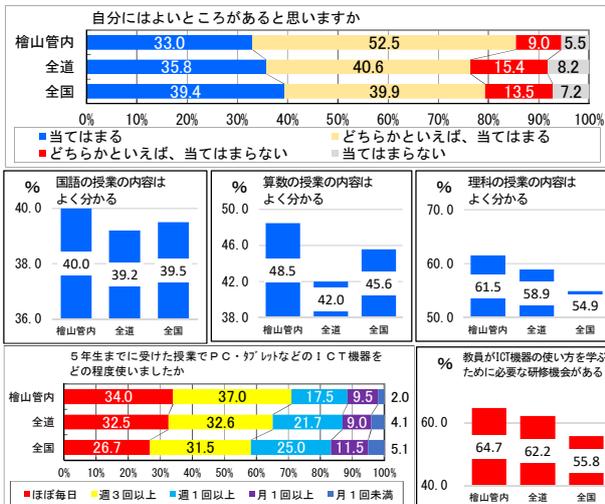
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの (管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で-4.2-4.2)

【平均正答率の推移】 「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

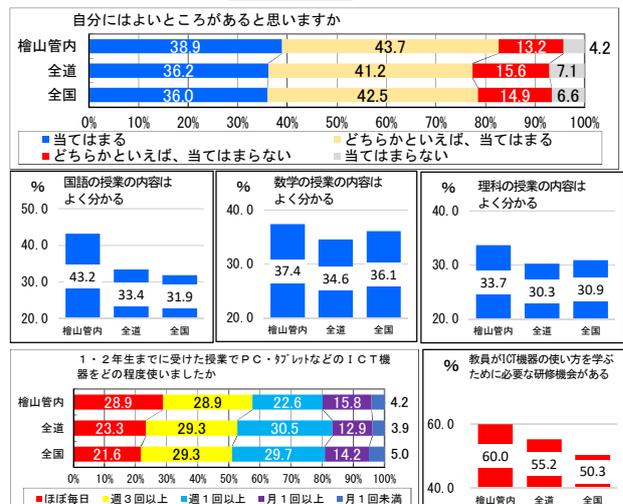


【質問紙の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

管内の多くの小学校において、学びをつなぐ学校間連携の強化を推進し、専科指導や乗り入れ授業など中学校区を中心とした小中が連携した学習指導等の取組の充実を図ったことにより、全ての教科で授業はよく分かれると回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

管内の多くの小学校で、教員がICT機器の使い方を学ぶための研修に取り組み、日常授業の改善に積極的に取り組んだことにより、5年生までに受けた授業でICT機器をほぼ毎日使ったと回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校

管内の多くの中学校において、学びをつなぐ学校間連携の強化を推進し、教員の専門性を生かした教科指導の充実や義務教育9年間を見通した指導計画の改善・充実を図ったことにより、全ての教科で授業はよく分かれると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

管内の多くの中学校で、教員がICT機器の使い方を学ぶための研修に取り組み、日常授業の改善に積極的に取り組んだことにより、1・2年生までに受けた授業でICT機器をほぼ毎日使ったと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【檜山管内の学力向上策】については、次ページの学力向上の取組を参照ください。

檜山管内における学力向上の取組

1. 管内課題と重点的な改善策

(1) 新たな時代に対応できる資質・能力の育成

- 児童生徒が主体的に学習活動に取り組むために、他者から評価を得たり、最後まで粘り強く取り組み達成感を味わう活動に取り組ませたりする必要がある。
- 児童生徒個々の活動を教員による評価はもとより、児童生徒間の相互評価に取り組ませるなどして、自己肯定感を高める取組の充実を図るよう指導助言する。

(2) 学びをつなぐ学校間連携の強化

- 中学校区等における教科に関する目標の設定等、教育課程に関する共通の取組の進捗に関する小・中学校の捉えに大きな開きが見られるため、小中一貫教育等の校種間の連携を強める必要がある。
- 管内の小中一貫校の取組の成果を各種研修会等で紹介するとともに、適切な目標を設定した上での、効果的な重点教科の年間指導計画等の改善について指導助言する。

(3) 子どもの学びを保障する取組の充実

- コンピュータなどのICTを使った授業をするための教員のスキルを向上させるため、日常的に短い時間の研修を行う必要がある。
- 「まずは使ってみる」のステップ1から「学びを深める」ステップ2の授業が展開できるよう、局独自の研修会等を通じ、指導助言する。

2. 具体的な取組

月	(1) 新たな時代に対応できる資質・能力の育成	(2) 学びをつなぐ学校間連携の強化	(3) 子どもの学びを保障する取組の充実
10	要請訪問(学校教育指導訪問)		遠隔コンサルテーション(学校教育指導訪問)
11	学び合いプロジェクト+(プラス)(数学指導の改善充実)	学校力/中1ギャップ指定校公開研	学び合いプロジェクト(ICT①)
12			要請訪問(学校教育指導訪問)
令和4年度檜山管内教育推進の重点の評価			
1	第2回組織力強化会議		
2			学び合いプロジェクト(ICT②)
3	年度の振り返り、新年度へ向けた教育課程の編成等		

3. 取組の評価

(1) 新たな時代に対応できる資質・能力の育成

- ① 「自分にはよいところがある(肯定的評価)」
 - ・現状 小…73.2%、中…71.3%
 - ・目標 小…85.0%、中…85.0%
 - ・達成値 1月末に評価
- ② 「児童生徒への積極的な評価(よく行った)」
 - ・現状 小…26.3%、中…80.0%
 - ・目標 小…80.0%、中…100%
 - ・達成値 1月末に評価

(2) 学びをつなぐ学校間連携の強化

- ① 「授業の内容はよく分かる(肯定的評価)」
 - ・現状 小国…91.5%、小算…81.6%
 - 中国…91.6%、中数…73.9%
 - ・目標 小国・中国…100%、小算・中数…90.0%
 - ・達成値 1月末に評価
- ② 「近隣の小・中学校との授業研究等の合同の研修」
 - ・現状 小…26.3%、中…30.0%
 - ・目標 小…80.0%、中…80.0%
 - ・達成値 1月末に評価

(3) 子どもの学びを保障する取組の充実

- ① 「授業でのICTの活用状況(ほぼ毎日)」
 - ・現状 小…13.9%、中…5.2%
 - ・目標 小…80.0%、中…80.0%
 - ・達成値 1月末に評価
- ② 「授業でのICTの活用状況(ほぼ毎日)」
 - ・現状 小…88.2%、中…80.0%
 - ・目標 小…100%、中…100%
 - ・達成値 1月末に評価

4. 改善点

(1) 新たな時代に対応できる資質・能力の育成

- 成果及び課題の分析と要因把握
- ICTを効果的に取り入れた学習指導の充実
- 児童生徒の自己評価・相互評価及び授業評価を生かした指導と評価の改善充実

(2) 学びをつなぐ学校間連携の強化

- 中学校区を中心とした調査結果の分析と課題の把握
- 課題解決に向けた重点単元等を位置付けた9年間を見通した指導計画の改善充実
- 乗り入れ授業等の一層の推進と合同研修の実施

(3) 子どもの学びを保障する取組の充実

- ICTを効果的に活用した授業推進に係る研修の充実
- 町内・管内の学校を中心とした遠隔授業の実施
- オンライン授業の実施に向けた研修の実施